

逗子市立中学校給食実施方針

平成23年2月

逗子市教育委員会

目 次

1. 中学校給食実施方針策定にあたって	1
2. 実施目的	1
3. 実施方法	1
4. 実施手順	3

1. 中学校給食実施方針策定にあたって

本市の中学校給食は、昭和38年の開始以来、牛乳を配食するミルク給食となっており、完全給食（主食、副食及びミルク）は実施しておりませんでした。市民の方からの要望の声や、市議会での完全給食早期実施を求める決議、また本市総合計画基本計画において中学校の完全給食実施を2014年度（平成26年度）目標としている経緯を踏まえ、市教育委員会では平成20年度に「逗子市立中学校給食調査検討委員会」を設置し、約3年にわたり調査及び検討を進めてきました。平成22年11月には検討を引き継いだ「逗子市立中学校給食実施検討委員会」から検討結果が出されましたので、市ではその答申を受け中学校給食導入のための「逗子市立中学校給食実施方針」を決定し、学校給食の目標を達成するよう計画を進めます。

2. 実施目的

学校給食法に規定されているように、中学校給食の実施を通して生徒の心身の健全な発達及び食に関する正しい理解と適切な判断力を養うため、健康の保持増進を図り、正しい食の知識や食習慣を身に付け豊かな学校生活を送ることを目指します。

3. 実施方法

本市では、逗子市立中学校給食実施検討委員会からの答申を重く受け止め、市立中学校へ早期の完全給食導入を目指すためにも、検討委員会で推薦されたボックスランチ方式による完全給食を実施します。

方式については、全生徒への完全給食提供が理想ですが、アレルギーを持つ

生徒への配慮、中学生の給食選択制への希望※1、また弁当持参を希望する家庭があることも考慮します。

(1) 方式

教育委員会が調理や盛り付けを「学校給食衛生管理基準」に準拠する調理場を所有する民間事業者に委託し、専用ランチボックス（弁当箱）で生徒及び教職員に提供します。

(2) 献立・調理・配送等

市の栄養士が成長期の中学生に必要なバランスの取れた献立を作成します。安全な給食用食材を使用し、委託業者の調理場で調理しランチボックスに盛り付け、クラスごとに専用コンテナに詰めて学校の配膳室へ配送します。生徒は昼食時間になると配膳室へ受け取りに行き、各教室へ運びます。

ミルクはこれまで通り業者から配送され、牛乳保冷庫に保管します。アレルギーを持つ生徒以外は給食・お弁当を問わずミルクを飲用します。

ランチボックスは業者が回収し、洗浄・保管します。

(3) ランチボックス

主食用・副食用のランチボックスを含め容器類は、環境や人体に安全なものを市で用意する予定です。

(4) 配膳室の整備

配送されたランチボックスを保管するために各学校に非汚染区域としての配膳室を整備し、安全面・衛生面に配慮します。

(5) 給食回数

学校行事等を考慮し、年間180日程度を予定しています。

(6) 給食費

給食にかかる経費については、食材料費の部分を保護者に負担していただくこととなります。金額については今後検討していきますが、1食あたりの単価が300円～400円の見込みです。

支払方法については前納制とし、利便性の高い納付方法を検討します。

(7) 予約方法等

事前に食材の発注をするため、給食を希望する生徒は一定期間前までの予約が必要となります。方法については今後検討します。

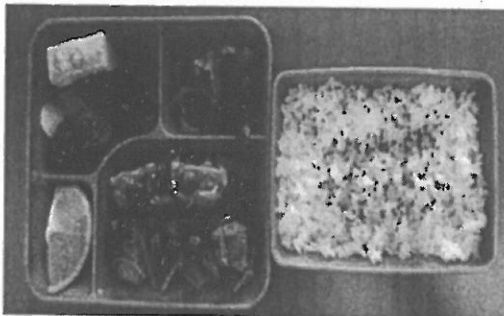
4. 実施手順

完全給食の早期実現のため、平成23年度中に中学校給食担当の栄養士を配置し、ボックスランチ方式の詳細な仕様について本格的に準備を始めます。

さらに平成24年度以降、各中学校の配膳室等の整備を進め、プロポーザル方式※2による給食調理業者選定を行います。同時に予約システム及び給食費徴収等システムの検討なども含め、具体的な稼働に向けて準備を進めます。

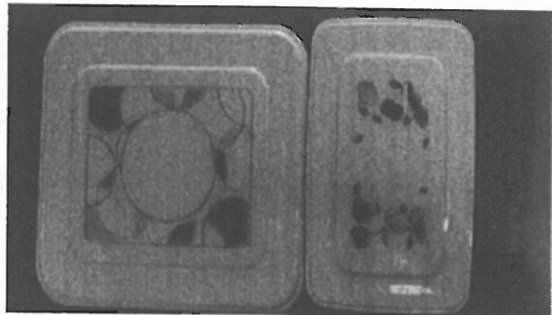
ボックスランチ方式 見本

給食の見本



蓋をしたところ

(左：おかず用、右：ごはん用)



※ 語句説明

- ※1 中学生の給食選択制への希望：平成22年9月に逗子市立中学校給食実施検討委員会が実施したアンケート結果より。添付資料の「逗子市立中学校給食実施検討委員会報告書」（22年度版）の資料編6ページ問4参照。
- ※2 プロポーザル方式：公募等により複数の業者から中学校給食導入・運営についての企画を提案してもらい、その中から企画・提案内容の優れた者を選ぶ方式。単に安価な金額を提示した業者が落札する競争入札方式とは異なる。